

(様式2)

令和 3 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570104032		
法人名	株式会社はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム新津		
所在地	新潟県新潟市秋葉区荻野町2番26号		
自己評価作成日	令和3年12月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1570104032-006PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1570104032-006PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和4年1月27日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・コロナ禍でご家族や大切な人に会う機会が減るなかでも、リモート面会やSNSで日常の様子を発信するなど「つながり」を大切にされた支援に力を入れています。ご家族には県外や海外在住の方も多いため、日時を合わせてリモート面会をする様子は、お正月に子供たちが集まってきたときのことを思い出しやすい時間となっています。

・認知症になっても、地域に貢献し暮らせることができるということを証明する取り組みの一つに、「ごみゼロ運動」があります。毎月0のつく日の夕方、近所の公園を中心にご利用者と職員でゴミ拾いを行っています。また、車いすや専門書の貸し出し、AEDの貸し出しなどを行っています。毎週木曜日の11時に移動スーパー(とくし丸)が事業所駐車場に来ますが、ご利用者だけでなく地域の皆様にもご利用いただける取り組みです。

・ユニット間の交流が盛んで、日常的にご利用者が行き来しています。食べ物のおすそ分けなども行っています。

・職員は、10代～70代と幅広い年齢層で、雇用形態関係なく意見を出し合い、様々な文化や趣味、価値観が認められる環境であると感じます。無資格未経験者でも雇用を積極的に受け入れ、事業所内の育成や勉強会だけでなく、積極的に事業所外の研修へ参加するなど、職員のスキルアップに努めています。管理者は、認知症介護指導者研修を修了し、県や市の研修講師を務めるなど、事業所内にとられず地域の認知症介護の普及と向上に努めています。そのため、同業者の見学も多く受け入れています。また認知症ケアマッピングを導入し、ご利用者の思いに気づき事業所のケアの質向上に努めています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所環境について  
事業所は新潟県下でも多数の福祉事業を展開する法人を母体としており、近隣は古くからの街並みに新興住宅が軒を並べ、公共の施設も整った生活の利便性も良い所に立地している。ほのぼのとして清々しい朝を迎えることが出来る環境となっている。

○盛んな地域交流と家族と共に支え合うチームワークの良さ  
事業所独自に作り上げた「地域の中で共に暮らす」の理念の下、職員は利用者一人ひとりに向き合いお互いに協力し合い、利用者が自身の力を発揮できる機会を見守り支えながら支援に努めている。外出や外泊、通院等も家族と協働の姿勢で自然な関係性を築いている。地域住民との交流も盛んであり、地域に密着した活動が展開されている。職場は落ち着いた居心地の良い雰囲気を感じ取れ、管理者、職員間の和やかな関係性も感じられ、運営に活かされていると感じ取れた。

○関係機関との連携について  
関係機関との連携面では、運営推進会議も定着しており、メンバーである市担当者、地域包括支援センター職員も参加の下、利用状況や取り組みについて率直な意見をいただき、サービス向上に活かしている。不明なことがあれば何時でも相談できる身近な間柄にあり、まさに協働の姿勢を高めている。